



こそあど言葉3

こそあど言葉が指し示す部分がわかる

月 日
名 前

■ 次の文の——線部のこそあど言葉が指している部分に~~~~を書きましょう。

- (1) 駅前えきまえにスーまパーえがああった。私わたしはそこでジじュじーじスすをか買かった。
- (2) へへいいのの上うをを黒くねねここがあるるをを歩あいいてていいるる。昨きのう日のうも黒くねねここが、
ここここをを歩あいいてていいるるののをを見みたた。
- (3) 妹いもうとはううささぎぎのぬぬいいぐるぐるみみをを持もっってていいてて、そそれれがが大だいの
おお気きにに入いりりだだ。

- (4) 学がっこう校こうのろろうう下かににかかざざっっててああるる絵え、ああれれははぼぼくくががかかいいた
ももののだだ。

- (5) 向むかいいの山やまをを見みててくくだだささいい。ああっっちちがが西にしの方ほう角かくでですす。

- (6) 部へ屋やの真まんん中なかににテてーえブルぶるががあありり、そそここにに手て紙がみがが置おいいて
ああっったた。

- (7) 道みちの向むかいいのの大おほききなな木きががああるる。ああそそここででひひとと休やすみみししよようう。

- (8) 私わたしはここうう思おもいいまますす。感かん謝しゃの気き持もちちがが大たい切せつだだとと。

こそあど言葉が指す部分は、ふつう、こそあど言葉より前にありますが、(8)のように、こそあど言葉より後ろにある場合もあります。

